



石見銀山
WORLD HERITAGE

石見銀山基金事業報告会

と き：平成26年6月8日（日）10時00分～

ところ：大田市民会館 2階 第一会議室

NPO法人石見銀山協働会議

■平成25年度分石見銀山基金事業報告会タイムスケジュール

グループ		説明 順番	報告案件	申請団体	報告予定時間
認定 事業	石見銀山を守る活動 (*保全事業)	1	保全美化活動	大森町自治会協議会	10:10～ 12:30
		2	琴ヶ浜の清掃（石見銀山遺跡のバッファゾーン）	琴ヶ浜の 鳴り砂を守る会	
		3	「矢滝城跡」 誘導路整備事業	祖式町元気な まちづくりの会	
		4	石見銀山の保全活動	島根県立 島根中央高等学校	
		5	景観保全整備事業	大森町文化財保存会	
	石見銀山を守る活動 (*文化財等修復事業)	6	井戸神社本殿 保存修理工事	宗教法人 井戸神社	
		7	城上神社本殿、隋神社、 瑞垣保存修理工事	宗教法人 城上神社	
		8	西本寺山門保存修理工事	宗教法人 西本寺	
		9	西楽寺本堂及び鐘楼 保存修理工事	宗教法人 西楽寺	
		10	恵比須神社解体調査工事	宗教法人 龍御前神社	
	石見銀山を伝える活動 (*石見銀山学習事業)	11	石見銀山学習	大田市内 小・中学校	
休憩（60分）					

グループ	説明 順番	報告案件	申請団体	報告予定時間	
審査 事業	石見銀山を守る活動 (*一般事業)	1 2	「大森町住民憲章」の 看板製作	大森町自治会協議会	1 3 : 3 5 ~ 1 5 : 3 5
	石見銀山を活かす活動 (*一般事業)	1 3	石見銀山を活かす活動 「石見銀山三日籠り」 2 0 1 3	NPO 法人しまね歴史 文化ネットワーク もくもく	
		1 4	石見銀山 世界遺産を守る 森づくり グリーンボ ランティアツアー	NPO 法人 緑と水の連絡会議	
		1 5	みんなでつくろう福光石 彫ワークショップ ～触って感じる彫刻 in 石見銀山～	島根県現代彫刻 振興委員会	
	石見銀山を伝える活動 (*一般事業)	1 6	世界遺産石見銀山エリア における地質研究と 啓蒙活動	石見銀山地質研究会	
		1 7	石見銀山のバリアフリー 観光情報の発信事業	NPO 法人 プロジェクトゆうあい	
		1 8	石見銀山の動植物を知 り・伝える	石見銀山とり・ むし・はなの研究会	
		1 9	石見銀山ガイド養成講座	石見銀山ガイドの会	
		2 0	「2 0 1 4 年 大森町民 元気カレンダー」制作	NPO 法人納川の会	
		2 1	石見銀山の暮らしの 小冊子「仕舞う(しまう)」 刊行	家の女たち	
	選定委員による講評				

*平成26年度からカッコ内の事業名へ変更となる

■石見銀山基金事業 認定事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を守る活動 (保全事業)	大森町 自治会協議会	<p>5月と11月に大森町内の草刈及び缶拾いを行い、8月に遊歩道の保全・清掃作業を行い、10月に樹木(梅)の剪定及び苗木植栽等景観保全活動を行った。</p> <p>それにより、環境美化の意識を高めることができ、子どもたちも参加し石見銀山を守る意識を大人と共有できた。遊歩道を清掃することで、安心して楽しんでいただくことができた。梅の木の剪定作業をアンテナショップと同時開催することで、観光客に石見銀山の歴史と梅の関わりを伝えることができ、景観保全と歩行者の安全を守ることができた。</p> <p>【事業費 101,189 円／補助金額 100,000 円】</p>
	琴ヶ浜の鳴り砂を守る会	<p>12月と平成26年3月に石見銀山遺跡におけるバッファゾーン琴ヶ浜の保全美化活動で海藻、流木、ロープなどの撤去を行った。</p> <p>それにより、石見銀山遺跡・鞆ヶ浦を訪問される観光客に対する美化活動や清掃による美化効果があり、環境美化の意識が高まった。</p> <p>【事業費 99,000 円／補助金額 99,000 円】</p>
	祖式町元気なまちづくりの会	<p>6月と9月に町部から「矢滝城跡」登山口駐車場までの旧街道沿線の草刈・ゴミ拾いを行った。9月に登山口駐車場から「矢滝城跡」頂上付近までの登山道の草刈・ゴミ拾いを行った。</p> <p>それにより、四季折々の自然散策に訪れる観光客やトレッキングを楽しむ方を温かく迎える条件整備が図られた。多くの住民参加により草刈やゴミ拾いを行ったことで、地域資源の保全に対する関心が高まり、この活動を継続することで、遺跡の価値・魅力アップやふるさと愛の醸成に努めていきたい。</p> <p>【事業費 109,998 円／補助金額 100,000 円】</p>
	島根県立 島根中央高等学校	<p>平成26年3月に遊歩道から見える場所に野積みされていたり、枯死して倒れた竹を除去した。「緑と水の連絡会議」の協力を得て、チップにした。</p> <p>それにより、景観が良くなった。島根中央高校生徒の石見銀山への興味・関心が深まった。石見銀山ガイドの会、緑と水の連絡会議等の協力団体との今後の活動についての展望が開けた。</p> <p>【事業費 49,230 円／補助金額 49,000 円】</p>

<p>石見銀山を守る活動 (保全事業)</p>	<p>大森町文化財保存会</p>	<p>平成26年2月に石見銀山地内における雪害被害・景観整備復旧作業の倒木竹の切り出しや土砂崩れ現場の清掃・片づけを行い、3月に倒木竹の撤去作業を行った。</p> <p>それにより、通行困難な場所や景観の見苦しい個所をきれいにする事ができた。遊歩道や市道の清掃作業が行われ、通行可能な範囲が増え景観も良くなった。石見銀山を守るため、官民一体となって「世界遺産石見銀山遺跡」の清掃作業を行ったことは、遺跡を守り後世に引き継いでいく意識を共有し高める事ができた。</p> <p>【事業費 100,244 円／補助金額 100,000 円】</p>
<p>石見銀山を守る活動 (文化財等修復事業)</p>	<p>井戸神社</p>	<p>屋根檜皮の損傷個所の部分修理を行い、銅版で被覆した。また、千木・堅魚木は腐朽が大きいため取り替えた。その他縁廻りの損傷個所の部分の補修、亀腹表面の剥離部分の補修等を行った。</p> <p>それにより、建造物としての価値を維持することはもとより、伝統行事の継承や少子化の進む当地域に対して、石見銀山の文化的価値を高めるためにも有効であった。</p> <p>【事業費 5,323,500 円／補助金額 532,000 円】</p>
	<p>城上神社</p>	<p>本殿は、経年による屋根の修繕に加え縁廻りなどの腐朽部分の修理を行った。随神社は、屋根替えを中心とした修理を行った。瑞垣は、屋根瓦の葺直しと木部の修繕を中心とし、一部石垣の不陸調整を行った。</p> <p>それにより、約200年の間守られてきた社殿と景観を維持・保全し、次世代へ良好に継承する事ができた。また社殿を継承することで伝統的な神事や祭祀を守ることにもつながり、少子高齢化の進む地域の氏神を維持するという活動を通して、地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることも期待される。</p> <p>【事業費 14,553,000 円／補助金額 1,455,000 円】</p>
	<p>宗教法人 西本寺</p>	<p>山門南側に近接して軸部の腐朽の原因をつくっていたコンクリート擁壁を約60cm欠き取る形で移動させ、唐居敷をはじめ傷んだ足元廻りの部材の取替えと修繕を行って不陸を解消した。また、老朽化し葺き乱れを生じていた屋根瓦は下地を調整した上で葺替えを行った。また、軸部については北側梁間の頭貫が腐朽していたことから取替えを行い、桁行の頭貫については仕口部を補強するなどして弛緩の原因を解消した。また、長押に残る風蝕から釘隠金物を復原して取付けするなど、文化財としての価値を損なうことなく保存事業を実施した。</p> <p>それにより、史跡の本質的価値の向上が計れ、地域に対する愛着と向上と誇りの醸成を図ることもできた。</p> <p>【事業費 5,775,000 円／補助金額 482,000 円】</p>

	宗教法人 西楽寺	<p>本堂は、内陣・外陣の大引、根太の腐朽箇所の補修と構造補強、背面(須弥壇後ろ)壁面補修を行った。また、鐘楼は、土台腐朽部の取替え、柱目切れ部分のバンド補強、水切り養生板設置を行った。</p> <p>それにより、維持・保全し、次世代へ良好に継承することができた。少子高齢化の進む地域の寺院を維持するという活動を通して、地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることも期待される。</p> <p>【事業費 3,769,425 円／補助金額 376,000 円】</p>
<p>石見銀山を守る活動 (文化財等修復事業)</p>	宗教法人 龍御前神社	<p>恵比須神社保存修理工事については、国庫補助事業により、3カ年計画に基づき実施する予定である。</p> <p>初年にあたり、保存修理工事に先駆けた解体調査工事を行った。調査は建物を解体しながら、部材の損傷状況の記録や実測、地盤の状況を確認した。調査工事の成果を踏まえて建物の修理履歴の整理と修理箇所を検討し、施工計画や復原資料とした。</p> <p>それにより、これまで守られてきた社殿と景観を維持・保全し、次世代へ良好に継承するための価値認識が図れた。社殿を継承することは伝統的な神事や祭祀を守ることにもつながり、少子高齢化の進む地域の氏神を維持するという活動を通して、地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることにつながった。</p> <p>【事業費 3,780,000 円／補助金額 316,000 円】</p>
<p>石見銀山を伝える活動 (石見銀山学習事業)</p>	大田市内小・中学校	<p>大田市内の19校の小・中学校が石見銀山を訪れ体験活動を通して学習する。</p> <p>それにより、興味関心・主体的な意欲の向上や郷土に対する愛着や誇りの育成、学習能力の向上ができた。</p> <p>【事業費(合計) 1,253,860 円／補助金額(合計) 1,253,860 円】</p>

【MEMO】

■石見銀山基金事業 審査事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を守る活動 (一般事業)	大森町自治会協議会 (1次募集)	<p>このまちを取り巻く様々な変化に、左右されることなく、世界遺産石見銀山を未来に引き継ぐため、このまちのあり方を「大森町住民憲章」として定めた。この看板(移動式)を3基作成し、町内3ヶ所に設置した。看板下段には、住民憲章を定めるに至った経緯の説明文も明記した。また、世界遺産センター内にも「大森町住民憲章」を記した額を寄贈し、掲示してもらった。</p> <p>それにより、来訪者と住民が住民憲章を共有することができた。また、「大森町住民憲章」看板の下段に、この住民憲章を定めるに至った説明文を明記することで、大森町民の思いを来訪者の方にも、より理解していただき、住民憲章を通して、交流が生まれ、世界遺産『石見銀山遺跡』を守り、活かし、未来に引き継いでいこうとする意識が強くなった。</p> <p>【事業費 218,725 円／補助金額 145,000 円】</p>
石見銀山を活かす活動 (一般事業)	NPO 法人 緑と水の連絡会議 (1次募集)	<p>4月と6月に石見銀山タケノコ採り大作戦、6月と10月に世界遺産センターと竹杖づくり、6月に大森小学校 ESD 公開授業竹杖づくり、7月に日米草の根交流銀山体験、9月に天領さん竹杖づくりと石銀地区植生調査・第13回国際ワークショップ石見銀山、平成26年2月に第14回国際ワークキャンプ石見銀山を行った。</p> <p>それにより、石見銀山タケノコ採り大作戦では、観光客に季節の恵みを提供し、遺跡保全の魅力を伝えた。世界遺産センターで竹杖づくりでは、多くの観光客にオリジナルデザインの杖を体験してもらった。大森小学校 ESD 公開授業では、大田市に訪れた米国教員に持続可能性教育の一例として竹の杖を作る公開授業を行った。視察した教員の評価は高かった。日米草の根交流では、テキサスの子どもたちを大田に迎え、七夕飾りやそうめん流しを体験してもらった。いい思い出を与えることができた。天領さん竹杖づくりでは、大森会場で竹杖デザインワークショップを開催し、子どもたちが竹杖づくりに参加してくれた。石銀地区植生調査では、伐採後の再生竹林の中には実生の広葉樹も混在しており、在来種の森に戻せる可能性も示唆された。国際ワークキャンプ石見銀山では、石見銀山地内での実際の竹林整備を行いチップで現地処分する一連の作業を行った。竹杖の材料を集め、杖を作成し、3ヶ所にある貸出用スタンドに配備した。これらの杖は観光客に活用されている。国際ワークキャンプの参加青年たちは市内いくつかの小学校等で交流事業を行い、子どもたちは環境保全のために外国から来てもらっていることを知り、世界遺産への誇りが芽生えた。</p> <p>【事業費 1,027,834 円／補助金額 600,000 円】</p>

<p>石見銀山を 活かす活動 (一般事業)</p>	<p>島根県現代彫刻 振興委員会 (1次募集)</p>	<p>6月22日～6月30日にかけて、石見銀山の美術文化おはなし会「仏像をつくること～石見地域の作例をもとに～」やオープニングワークショップ「福光石で作る！～ムシムシ大行進～」・福光石彫公開制作・福光石彫ワークショップ「たたいて・さわって・ほって・けずって～造って感じる石遊び～」・世界にひとつだけのお地藏さんを行った。</p> <p>それにより、座学講座では、戦国から近代にかけて、銀の流通だけでなく仏教の興隆布教も盛んであったことが分かると同時に、広く階級を越えた往時の人々の文化交流が盛んであった様子を知ることができた。福光石を素材とした立体模刻を公開制作することで、観光客、地元住民問わず、石像の制作工法広く多くの人に伝達する機会を造ることができた。同時に福光石の彫刻素材としての可能性を実在の制作を通して検証することができた。また、今回事業の実績の足跡を残すことができた。小学生以上対象のワークショップでは、幼稚園児童の参加もあり、具体的な実践を通して福光石の教材を見極めることができ、教材開発への展開の可能性を示唆することができた。また、高校美術教師の実材研修として福光石を提供することができ、実践を通してここでも授業の教材としての可能性を確かめていただくことができた。具体的で的確なギャラリートークや石彫工法指導の機会を造ることができたことは、島根県の彫刻の啓蒙となり、一般鑑賞者や県内在住の作家への大きな刺激となった。</p> <p>【事業費 2,272,712 円／補助金額 1,500,000 円】</p>
	<p>NPO 法人 しまね歴史文化ネット ワークもくもく (1次募集)</p>	<p>夏籠りを9月13日～16日に開催し、初日に講座「中世の石見銀山」を行い、2日目にフィールドワークで石見銀山ガイドの会にガイドをしてもらい、大久保間歩から大森町までのルートを歩いた。講座「銀山に暮らす町人と武士～情報をもつ家～」を行った。3日目に三瓶自然館と小豆原埋没林・沖泊港を見学し、古代温泉体験をし、講座「水中調査研究の実際」を行った。4日目は、古代出雲を訪ねるバスツアーをし、閉校式を行った。</p> <p>秋籠りを10月12日～14日に開催し、2日目に同上のフィールドワークを行い、神話と海辺の暮らし体験として、藻塩づくりと神話の洞窟“静之窟”探訪・羽釜で炊飯、郷土料理“へか焼き”で夕食会を行った。3日目に講座「世界遺産からのメッセージ～京都ヴィジョンと石見銀山～」を行い、古代出雲を訪ねて閉校式を行った。</p> <p>それにより、石見銀山へ幾度も訪れる人も現れ、世界遺産登録を目指す地域の行政担当者の参加もあり、世界遺産登録の経緯や住民活動の様子などを学んで帰った。また、地元住民との交流や生活体験メニューを取り入れたことで、異なる分野の学生の参加も見られるようになり、中・高年層の方の参加比率が増えた。これを機に地域の商品や住民と参加者のパイプがつながり、徐々にネットワークが広がっていくことを期待している。</p> <p>【事業費 2,553,688 円／補助金額 1,702,000 円】</p>

石見銀山を伝える活動 (一般事業)	石見銀山地質研究会 (1次募集)	<p>日本列島がユーラシア大陸から離れていく過程、つまり日本海形成期及び拡大期に石見銀山の成因が受けた影響を岩石や地層から探ることと大江高山火山群がもたらした人々の生活への影響を探ることを5月・6月・平成26年1月に実施した。仙ノ山における岩石の分類から見た火山噴火の過程を通して石見銀山の成因を探ることを4月・6月・8月・9月・平成26年1月に実施した。</p> <p>それにより、会員と一般参加者が県内だけでなく、広島県にも及んだことは、石見銀山への理解と関心が広範囲の人たちに広がったことを示した。また、地層や岩石を観察し、石見銀山の価値が単に文化的な要素だけに止まらず、自然科学的な要素、とりわけ中新世以降の多様な地質学的な価値を有していることが、多くの参加者の共通認識となった。石見銀山の地質構造や成因はまだ未解明であることが確認でき、その解明に向けた調査・研究活動が必要であるとの認識が一層深まった。石見銀山を取り巻く周辺地形や地層の観察も実施でき、石見銀山が日本海形成期以降の長い歴史のなかで形作られたことを確認できた。また、中学生の参加もあって若い人たちに関心が広がったように感じたが、一方で高校生の参加がなかったことは残念であった。</p> <p>【事業費 468,199 円／補助金額 278,000 円】</p>
	NPO 法人 プロジェクトゆうあい (1次募集)	<p>島根県内のバリアフリー観光情報フリーペーパーを制作し、石見銀山特集として秋に6000部発行した。フリーペーパーは、フルカラー16ページで大森、温泉津の主要な観光スポットや飲食施設、宿泊施設交通機関等のバリアフリー情報を障がいのある人の現地調査をふまえて、写真を多用して分かりやすく紹介した。</p> <p>それにより、障がいのある方に対して、バリアフリーに関する必要情報を提供することができた。また、臨場感あふれる紙面構成によって、障がいのある方の旅行にお役に立つ媒体にすることができた。冊子は、島根県内の観光案内所をはじめ、県内の道の駅、山陰合同銀行の各支店などを通じて広く配布されている。なお、冊子を発行したのちに、世界遺産センターより、増刷の依頼を受けることにもつながった。</p> <p>【事業費 754,700 円／補助金額 500,000 円】</p>
	石見銀山とり・むし・はなの研究会 (1次募集)	<p>毎月同じコースの野鳥観察と野草観察ができた。</p> <p>それにより、野鳥の観察では、観測のための基本的なことを再確認し、五感をすますこと、歩く速度などを学んだ。鳥によって営巣がいつも同じ地域であるらしいことが分かった。種類によっては、一昨年・昨年と生息数が少なくなってきた野鳥もあった。地域の方も参加し、鳥の名前を確認できる人が増えてきた。野草の観察では、銀山に多い植物を知ることができた。銀山にしか見られない植物を草刈りの際、刈り取られることが多かったのが気になった。蝶の観測では、観察日と蝶の出現が合わず、全体での観察はできなかった。また、その時期に観察できる珍しい草木の花などを撮影し、その写真をガイド事務所内に貼り、ガイド中に紹介し、観光客とともに石見銀山の自然を楽しめるよう工夫した。</p> <p>【事業費 136,413 円／補助金額 90,000 円】</p>

石見銀山を伝える活動 (一般事業)	石見銀山ガイドの会 (1次募集)	<p>世界遺産とは何か、石見銀山の歴史をはじめ、周辺地区の歴史を7回の座学で学ぶ。また、大森の町並み、銀山地区、温泉津地区、仁摩地区等の現地実習を8回行い、その後、仙ノ山、山吹城跡、温泉津沖泊道、やなしお道の銀山街道トレッキング実習を4回行った。</p> <p>それにより、広範囲の需要に応えることのできる実習ができ、観光客への更なる誘客が期待できる結果となった。地域の活動や遺跡の保全活動に参加し地域に貢献できた。養成講座には現会員も積極的に参加して全会員同士のスキルアップにもなった。ガイドの年齢も年々高くなり、ガイド活動を継続していくためにも、新しいガイドを補充していくことが必要である状況ではあった。今回最終講座まで参加者募集を試みたが、最終的に少人数となったために十分なガイド補充にはつながらなかった。</p> <p>【事業費 70,983 円／補助金額 47,000 円】</p>
	NPO 法人 納川の会 (2次募集)	<p>「第33回天領さん」大森会場の大盛行列最終地点である石見銀山資料館前にて撮影を行った。カレンダーとして大森町の全戸と大田市主要施設に配布した。</p> <p>それにより、これまで資料館前では撮影したことがなく、松江城鉄砲隊と松江城姉さま鉄砲隊にも大盛行列の皆さんとともに撮影に加わっていただき、色とりどりの時代衣装でいつになく賑わいがある撮影となった。また、天領さんでも初めて撮影したことにより、大田市民の方々にもこの事業を周知することができた。カレンダーに毎回挿入されている「We are here」は、私たち住民が、まさにここに暮らしていることを発信し、同時にこの町の美しさを伝えることを表している。そのことをたくさんの方に発信し伝えることができた。</p> <p>【事業費 302,693 円／補助金額 200,000 円】</p>
	家の女たち (2次募集)	<p>熊谷家、河島家、渡辺家、柳原家、山中家など、大森町の武家と商家の家財道具の仕舞い方をまとめた、小冊子『仕舞う』の刊行。説明を解りやすくし写真も多用したため、ページ数が大幅に増えた。販売分については、1冊1000円(税別)で販売することとする。</p> <p>それにより、冊子としてまとめることで、来訪者の知的関心に応える効果が期待できるとともに、より広範囲に、「家財の仕舞い方から見る石見銀山の文化や風習、人々の知恵」を伝えることができるのではないかと考えている。また、モノを大切に作る心「もったいない」や現代生活で欠かせない3Rに繋がる循環型生活のヒントにもなると思われる。『仕舞う』ことの「驚き」と「感動」を伝える一冊になったのではないかと自負している。完成した本書は、県内図書館、高校、文化施設などに無料配布し、残りは販売する。販売方法は来訪者だけでなく、電話等での申し込みにも対応することで、より広範囲に石見銀山での暮らしを伝えることにつながると期待している。</p> <p>【事業費 1,268,000 円／補助金額 500,000 円】</p>